

市民会議 ニュースレター 第1号



10代～80代の幅広い参加者による市民会議がスタート！



第1回目の今回は、新花巻図書館建設候補地の比較調査結果について説明をしたのち、候補地ごとにメリットやデメリットについて、全員で対話をしながらまとめていきました。

令和6年11月17日（日）
13時～17時

生涯学園都市会館（まなび学園）

出席者：65名（申込者75名）

これまでの経緯

現在の花巻図書館は、開館から50年以上が建ち、施設の老朽化などが課題となっています。

平成29年には整備の基本方針や建設場所に関する方針などを定めた「新花巻図書館整備基本構想」を策定しました。

この基本構想に基づき、「新花巻図書館整備基本計画」を策定するため、令和3年から新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、サービスや機能について検討してきました。

建設候補地は、花巻駅前と総合花巻病院跡地の2か所に絞られてきたと考えていますが、両方の候補地に整備する場合の事業費などを示すため、専門業者に建設候補地2か所の概算事業費の算定やイメージパースの作成等、建設候補地の比較調査を委託しました。

調査結果については、市ホームページで公開しているほか、市内振興センターなどでも閲覧できます。

市ホームページへ▶



会議の目的

今回開催する市民会議は、比較調査結果の資料などを基に、市民が対話を通じて互いの意見や考え方を共有し、会議で出された意見を可視化・整理することで、市が建設候補地を選定するための判断材料をつくることを目的としています。

なお、会議の参加者は無作為で抽出した15歳以上の市民へ案内を送り、参加申込をいただいた方としており、無作為抽出は年代や居住地域のバランスを考慮して行いました。結果として、10代から80代の75名の方から参加申込をいただきました。

！
新花巻図書館の整備状況について情報を発信しているポータルサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」もぜひご覧ください！

ポータルサイトへ▶



会議の内容

慶應義塾大学大学院特任教授の山口寛さんをメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、対話による話し合いとはどういうものか、対話のルールなどを確認しながら次のように進めました。

対話の心得

- 「私たち」と思う
- 話に耳を澄ませて聴く
- 否定も断定もしない
- 答えは一つと思わない
- 一人1回2分以内
- アイディアをつなげる
- 心の変容を許す

- 13:00** はじめに・趣旨説明
ファシリテーター紹介
- 13:05** ルール説明等
- 13:30** 対話
自己紹介・自分にとって図書館とは？
- 14:00** 市からの現状説明
質疑応答
- 14:40** 対話
2つの候補地のメリット・デメリット
- 16:00** 席替え
他グループで出された意見の共有
- 16:20** 発表
代表4グループから
- 16:40** ファシリテーターからコメント
- 16:50** 感想共有
- 17:55** おわりに・事務局挨拶

近い年代ごとに分かれ
11のグループで話し合い



席替えでは年代を混ぜて
他のグループで出た意見を共有



* テーブルファシリテーターは山口さんの研修を受けた市職員が担当しました。

参加者の声

- 初めは緊張したけど、話しやすい環境だったので自分の考えを話すことができた
- それぞれのメリット・デメリットを共有することを有意義に感じたし、グループ分けを年齢で分けていただいたので話しやすかった
- 次回に向けて広い視野で情報収集をしたいと思った
- ほかの世代の人と話すいい機会になった
- 若い方が、このような場に参加していることに驚いている。いつも何かの場では若い人の参加が少ないので、今回のテーマがよかったのか、やり方がよかったのだと思った
- 時間があっという間にすぎた。楽しかった

第2回 市民会議

12月21日(土) 13時～17時
生涯学園都市会館（まなび学園）

第1回で話し合った内容を踏まえ、引き続きメリットやデメリット、さらにデメリットの解決策について話し合います